

ライオンズクラブ国際協会 334-B地区

**アクティビティ報告 入力要領**  
for Sys. eMMR ServannA Rev2.0



**We Serve**

改訂履歴

REV	日付	摘要
0.1	2009/ 6/ 1	多治見キャビネットにて草案作成
0.2	2009/ 7/15	YCE記述修正追加
1.0	2009/ 7	各クラブリリース(津中央キャビネット)
2.0	2010/ 7	各クラブリリース(関キャビネット事務局)

**ライオンズクラブ国際協会**  
**334 - B地区 キャビネット事務局**

概要

本書は、ライオンズクラブ国際協会334 - B地区(以降 地区と記述)内のオンライン報告システム Sys.eMMR ServannA(サバンナ)のアクティビティ報告の入力要領を記述したものであり、地区内各クラブ間の入力内容の整合性を図ることを目的とします。

本書に記載した入力要領は、あくまでも地区内の目安あり、時のキャビネットの方針に基づき 適宜改訂されます。

労力奉仕		延時間	使用済切手
件		H	枚
項目	件数		金額
1	件		円
	当月200cc	当月400cc	当月成分
	人	人	人
	献血奉仕	会員数	採血量
	回	人	ml
2	件		円
	当月アイバンク登録者		当月内臓提供者
	人		人
3	件		円
	当月腎バンク登録者		当月腎臓提供者
	人		人
4	件		円
	当月骨髄バンク登録者		当月骨髄提供者
	人		人
5	青少年関係	件	円
6	高齢者福祉	件	円
7	障害者福祉	件	円
8	環境保全	件	円
9	国際援助	件	円
10	YE	件	円
11	LCIF	件	円
12	その他	件	円
	アクティビティ(全額)合計	件	円
項目	件数		金額
事業資金獲得	件		円

本書の記載内容は2002年に334複合地区ガバナー協議会から配布された『クラブ月例活動報告書 記入要領』を参考にしておりますが、必ずしもその記載内容に沿ってはありません。

## 「例会出席人数」

	① 正会員	② 出席者	③ メークアップ	出席率
第1例会	0名	0名	0名	0.0%
第2例会	0名	0名	0名	0.0%
当月の平均出席率				0.0%

正会員	例会開催時点でのクラブの正会員数(家族会員も含める)
出席者	例会に出席した正会員数+家族会員数(家族会員に関しては無条件に出席の扱いとする。)
メークアップ	メークアップした人数

- \* 家族会員は正会員である。
- \* 例会出席管理上、家族会員は無条件に出席の扱いとする。

例) Case1 正会員60人(通常会員50人+家族会員10人)  
 例会出席40人(家族会員の出席者0)  
 通常会員が10人欠席  
 通常会員5人がメークアップの場合  
 (第2例会)

	正会員	出席者	メークアップ	出席率
第1例会	60名	60名	0名	100%
第2例会	60名	50名	5名	91.7%
当月の平均出席率				95.8%

## 「労力奉仕」

### 労力奉仕1件とみなす指針

労力の提供を目的とし、クラブが承認した労力奉仕であること

参加人員×時間=延べ人時の示す数字が、クラブ会員数の1/2以上であること。(会員数の2分の1を算出する際 家族会員は考慮しない。)

(例)会員数50人のクラブで20名が2時間奉仕を行なった場合、20×2="40"人時となり 会員数の1/2 25人を超えるので1件とみなす。

の数字は規定に達していなくても 特に効果の著しかったものとクラブが判断したもの。

労力奉仕の件数とその他の項目の件数の扱いについて

献血・献腎・献眼・骨髄バンク・青少年関係、高齢者福祉・障害者福祉・環境保全・国際援助・YE・LCIF・その他の件数欄は当該カテゴリにおける労力・金銭のアクティビティ件数が入力されるものとする。その中で労力奉仕の要件を満たす労力アクティビティに関しては 労力奉仕の件数にカウントするものとする。

特殊ケース YCEプログラムに基づく派遣・受入については、派遣・来日青少年1名あたりそれぞれ労力奉仕1件とする。(プログラム完了月に報告)  
 (YCE委員長が送迎のため空港に向いてもその都度労力奉仕1件とはならない)

特殊ケース 献眼が行なわれた場合は、甲問や摘出・移送、葬儀参列、感謝状贈呈等一連の活動について提供者1名あたり労力奉仕1件とする。

特殊ケース 使用済切手・各種カード・中古眼鏡等の収集においては収集、整理、発送の一連の作業が完了した際 その作業が労力奉仕の要件を満たしていなくても 労力奉仕1件とする。

\*注 アクティビティ活動の準備会・打合せ会・講習会への参加は労力奉仕としてカウントしない。

(例)薬物乱用防止の講師養成講座を10人の会員が8時間受講した。

労力奉仕の要件を満たしても、講師としてのアクティビティ活動の準備活動の為 カウントできない。

労力奉仕	①	延時間	②	使用済切手	③
	0件		0H		0枚

労力奉仕	上記要件を満たす労力奉仕の実施件数
延時間	労力奉仕への参加人員×時間 (分単位は切り上げて扱う)
使用済切手	集めた使用済切手の枚数

# 「献血」

献血奉仕(献血バス等による献血推進活動)、献血協力(前記とは別個の血液提供)、献血関係の寄付などを「献血関係のアクティビティ」とし、実施したアクティビティの種類の数で件数とする。(種類の数で、回数ではない)

献血バス等による献血推進活動を実施した献血奉仕の回数とする。

のぼり・パンフレット等の作成については、献血バス等での献血活動の一環として実施する場合は、製作費は金額欄に反映させるが、件数としては新たにカウントしない。(作成のみを実施した月は件数にカウントする)

『クラブ月例活動報告書 記入要領』に200cc:1点 400cc:2点 成分:5点の記述があるのでその比率から成分献血を1000cc扱いとした。

1	献血	0 件		0 円
		0 人	0 人	0 人
		0 回	0 人	0 ml

件数	献血関係のアクティビティの実施件数(種類の数)
金額	献血関係のアクティビティにおいて対外的に拠出した金額
献血人数	200cc献血 400cc献血 成分献血に協力くださった方的人数(パンティオン含む)
献血奉仕	献血バス等による献血推進活動の実施回数
会員数	献血およびお手伝いとして協力いただいた会員的人数
採血量	200cc X 200cc協力者人数 + 400cc X 400cc協力者人数 + 1,000cc X 成分協力者人数 (成分献血に関しては1000ccに換算する。)

例) Case1 5月16日・17日の2日間にわたり 献血活動を実施した。2日間で延べ30人の会員が献血またはお手伝いとして参加くださり、200cc献血30人、400cc献血40人、成分献血10人の協力が得られた。

Case2 Case1の献血活動時 お礼としてボールペンを100本(10,000円)配った。またお手伝いの会員に昼食(30x500=15,000円)を準備した。

Case3 Case1の献血活動時 当日都合の付かない会員3人が別の日に献血センターに出向き 400cc献血に協力して下さった。

Case4 Case1のような献血活動のない月に会員3人がそれぞれ別の日に献血センターに出向き 400cc献血に協力して下さった。

Case5 Case1のような献血活動が当該月の末日と次月の1日にまたがって実施された。

-> どちらかの月でまとめて報告する。

Case6 Case1を実施した同月に日本赤十字社等の団体に50,000円寄付をした。

1	献血	1 件		0 円
		30 人	40 人	10 人
		2 回	30 人	32,000 ml
1	献血	1 件		10 円
		30 人	40 人	10 人
		2 回	30 人	32,000 ml
1	献血	1 件		0 円
		30 人	43 人	10 人
		2 回	33 人	33,200 ml
1	献血	1 件		0 円
		0 人	3 人	0 人
		0 回	3 人	1,200 ml
1	献血	2 件		50,000 円
		30 人	40 人	10 人
		2 回	3 人	32,000 ml

昼食代は対外的な拠出ではないので報告しない。

## 「献眼」

ドナー登録もアクティビティとする。

アイバンク登録者が当月内に何人いらしても件数は1件とする。

角膜提供者に関しては提供者の人数分 件数にカウントする。

またアイバンク登録イベント等を開催し、その活動の一環としてのぼり・パンフレット等を作った場合は

その制作費は金額欄に反映させるが、件数としては新たにカウントしない。

(作成だけを実施した月は件数にカウントする)

2	献眼	1	0 件	2	0 円
		3	0 人	4	0 人

件数	献眼関係のアクティビティの実施件数
金額	献眼関係のアクティビティにおいて対外的に拠出した金額
当月IB登録者	当月アイバンクに登録した人数(ノンライオン含む)
当月角膜提供者	当月角膜を提供して下さった方の人数(ノンライオン含む)

例) Case1 アイバンクへの登録推進イベント等を開催し30名の方に登録いただけた。その際 パンフレットを作成し、会場で配布した。(作成費100,000円)

Case2 当該月に2人の方に角膜を提供していただけた。(人数 = 件数)

Case3 アイバンクへの登録推進イベント等が開催されていない月に個別に3人の方がアイバンク登録をしてくださった。

Case4 Case1とCase2が同月に実施され、さらに眼科協会に50,000円寄付を実施した。

2	献眼	1	1 件	100,000	円
		30	30 人	0	人
2	献眼	2	2 件	0	円
		0	0 人	2	人
2	献眼	1	1 件	0	円
		3	3 人	0	人
2	献眼	4	4 件	150,000	円
		30	30 人	2	人

「献腎」と「骨髄バンク」は「献眼」と同様な考え方とする。

ジンアイバンク募金は「献眼」、「献腎」のどちらか一方に入力して下さい。

## 「青少年関係」

5	青少年関係	<input type="text" value="0"/> 件	<input type="text" value="0"/> 円
---	-------	----------------------------------	----------------------------------

件数	青少年関係(ライオンスクエスト、薬物乱用防止、LEO等)のアクティビティの実施件数
金額	青少年関係のアクティビティにおいて対外的に拠出した金額

例) Case1 LQワークショップに参加する3人の教員の受講料・旅費交通費(100,000円)を拠出した。(会員が同行した場合、その交通費等は金額に加算しない。)

5	青少年関係	<input type="text" value="1"/> 件	<input type="text" value="100,000"/> 円
---	-------	----------------------------------	--

Case2 薬物乱用防止の講座を30人の会員が受講した。

5	青少年関係	<input type="text" value="0"/> 件	<input type="text" value="0"/> 円
---	-------	----------------------------------	----------------------------------

アクティビティ活動の準備活動はカウントしない

## 「高齢者福祉」「障害者福祉」

6	高齢者福祉	<input type="text" value="0"/> 件	<input type="text" value="0"/> 円
7	障害者福祉	<input type="text" value="0"/> 件	<input type="text" value="0"/> 円

件数	福祉関係のアクティビティの実施件数
金額	福祉関係のアクティビティにおいて対外的に拠出した金額

## 「環境保全」

8	環境保全	<input type="text" value="0"/> 件	<input type="text" value="0"/> 円
---	------	----------------------------------	----------------------------------

件数	環境保全関係のアクティビティの実施件数
金額	環境保全関係のアクティビティにおいて対外的に拠出した金額

## 「国際援助」

9	国際援助	<input type="text" value="0"/> 件	<input type="text" value="0"/> 円
---	------	----------------------------------	----------------------------------

件数	国際援助関係のアクティビティの実施件数
金額	国際援助のアクティビティにおいて対外的に拠出した金額

例) Case1 当月にインドネシア沖地震の被災地に100,000円、中越地震の被災地に300,000円の義援金を送金した。

9	国際援助	<input type="text" value="1"/> 件	<input type="text" value="100,000"/> 円
---	------	----------------------------------	--

中越地震への義援金は「国際援助」ではなく「その他」欄に入力する。



## 「YCE」

YCEプログラムに基づく派遣・受入については、派遣・来日青少年1名あたり 件数1とし、金額には下記の項目の合計拠出金額を報告する。  
 延べ時間には1日当たり8時間を報告する。 (プログラム完了月にまとめて報告)

- \* 送迎・観光・見学費用 (YCE生本人・通訳・直接の担当者 (1~2名)) (同行ファミリーや担当者でない当該クラブ会員の費用は除外)
- \* 歓送迎会費用 (YCE生本人・通訳等当該クラブのメンバー以外の人の費用)
- \* ホストファミリー費用 (YCE生1名につき1日 5,000円とする。 5,000円 x 滞在日数)

10	YE	0 件	0 円
----	----	-----	-----

件数	YCE関係のアクティビティの実施件数
金額	YCE関係のアクティビティにおいて対外的に拠出した金額

例) Case1

4月28日から5月10日までYCE生を受け入れた。  
 途中 ホストファミリーが2回観光旅行に連れて行き、クラブが歓送迎会と送別会を開催した。

10	YE	1 件	255,000 円
----	----	-----	-----------

5月に報告

かかった費用の内訳

送迎費用 (交通費等) 70,000円 (担当者のみで送迎)	70,000円
2回の旅行の費用 (YCE生本人の分 50,000円 担当者(ホストファミリー)50,000円 担当者家族 120,000円)	100,000円
歓送迎会 クラブから30人参加 5,000円 X 31名 155,000円	5,000円
送別会 クラブから30人参加 5,000円 X 31名 155,000円 + 記念品 10,000円	15,000円
ホストファミリー費用	65,000円 (5,000円 X 13日)
	255,000円

## 「LCIF」

MJF、その他の献金 すべて1件ずつカウントして報告するものとする。

11	LCIF	0 件	0 円
----	------	-----	-----

件数	LCIFへの献金者(クラブ等含む)数
金額	LCIFへの献金金額

例) Case1

当月内に5人の方が1000ドル献金に協力くださった。  
 (ライオンズレート 1ドル=100円換算の場合)

11	LCIF	5 件	500,000 円
----	------	-----	-----------

## 「その他」

12	その他	0 件	0 円
----	-----	-----	-----

件数	他のカテゴリーに属さないアクティビティの実施件数
金額	他のカテゴリーに属さないアクティビティにおいて対外的に拠出した金額

## 「事業資金獲得」

事業資金獲得	<input type="text" value="0"/> 件	<input type="text" value="0"/> 円
--------	----------------------------------	----------------------------------

件数	クラブが資金を獲得したイベント等の件数
金額	クラブが獲得した資金金額

バザー等で資金を獲得した時報告する。

例) Case1 当月内にバザーを実施し500,000円の収益をあげた。

事業資金獲得	<input type="text" value="1"/> 件	<input type="text" value="500,000"/> 円
--------	----------------------------------	--

## その他 特記事項

キャビネットや他クラブの記念事業に対し、協力金を拠出する場合 拠出先から事業内容を確認し、該当するカテゴリにて報告する。  
(協力を求めるキャビネット・クラブが各クラブにカテゴリを報告することが望ましい)



No.

Sys.eMMRサバンナ クラブ活動報告 入力方法問合せシート

お問合せ日 年 月 日

LC

お問合せ者

お問合せ内容 (具体的な実例)

Large empty box for writing the inquiry content.



回答日 年 月 日

回答者: 334 - B地区キャビネット

L.

努力奉仕	延時間	使用済切手
件	H	枚
項目	件数	金額
1 献金	件	円
	当月200cc 人	当月400cc 人
	当月成分 人	
	献金奉仕 回	会員数 人
		採血量 ml
2 献物	件	円
	当月アイ/パン登録者 人	当月角餅提供者 人
3 献物	件	円
	当月アイ/パン登録者 人	当月角餅提供者 人
4 骨髄バンク	件	円
	当月骨髄バンク登録者 人	当月骨髄提供者 人
5 青少年関係	件	円
6 高齢者福祉	件	円
7 障害者福祉	件	円
8 環境保全	件	円
9 国際援助	件	円
10 YE	件	円
11 LCIF	件	円
12 その他	件	円
アクセシビリティ (金額)合計	件	円
項目	件数	金額
事業資金獲得	件	円

Large empty box for writing the answer content.